

## 令和元年度第2回市民参加推進・評価会議 会議要旨

1 日時	令和元年8月5日（月） 午後2時00分～3時00分
2 場所	大和市役所 第1分庁舎第5会議室
3 出席者	委員5人（田邊 誠 委員（会長）、青木 俊介 委員、岩本 翠 委員、小川 典子 委員、中丸 ちづ子 委員） 事務局3人（政策総務課長他2人）
4 傍聴人数	0人
5 議題	(1) 平成30年度市民参加手続の実施状況に対する総合評価について (2) その他
6 議事要旨	・前回までの審議内容をもとに事務局において作成した答申案について、事務局から説明を行った。 ・事務局からの説明の後、意見交換を行った。
7 会議資料	・参考資料2：意見公募手続の意見提出方法について ・平成30年度市民参加手続の実施状況に対する総合評価について (答申案)

### 【主な質疑等】

- 会長： 参考資料2について何か意見・質問はあるか。
- 委員： 電子申請はどのようなシステムで意見を提出するのか。
- 事務局： 市の意見公募のページの中に、神奈川県が運用している電子申請システムへのリンクを貼り、そのシステムを通じて意見を提出する形になっている。
- 会長： 意見の提出方法については、事業主管課でどれを利用できるようになるのか判断するのか。
- 事務局： そのとおりである。
- 委員： その他の提出方法はメール以外にはどのような方法があったのか。
- 事務局： 計画の策定にあたって、パネル展示を行った際に、その場で提出できるようにしたもので、5件の意見提出があった。
- 会長： 答申案の本文について何か意見・質問はあるか。
- 委員： 1段落目の2行目の「昨年度」は、平成29年度のことだと思うので「前年度」にしたほうが良い。
- 事務局： ご指摘のとおり修正する。
- 会長： 同じ段落の5行目からの「他自治体と取り組み内容を比較すると～」の部分について、本市のように予定や実績を評価する仕組みを整えて、それを実践している自治体は少なく、このような会議を設けて実際に審議をしている点で大和市は進んでいると感じた。
- 事務局： 本市と同程度の規模の自治体にアンケート調査を行った結果、市民参加推進・評価会議のような附属機関を設置して市民参加の手法や状況を評価して

いる自治体は本市を含めて3市となっており、仕組みが整えられているという部分に関して答申案に記載させていただいた。2段落目の文化芸術振興基本計画の意見交換会については、無作為抽出した市民に参加を募る市民討議会の形式で開催したもので、サイレントマジョリティの声を聞くための手法として力を入れて取り組んでいることもあり記載をさせていただいた。

委 員： 市民参加の意識を高めるために一生懸命取り組んでいると感じる。市の施策に興味を持つてもらうためにも、何か目を引くキャッチコピーを使いながらPRができると良いと思う。3段落目の4行目の「市民参加推進条例に定める4つの手法」について、最近はインターネットの需要が非常に高まってきていると感じており、そういうことを印象付ける記述はできないか。

委 員： 「時代の流れを読み取った情報の流し方を含めて検討を求める」といった記載ができると良いと思う。

事務局： インターネットを使った手段や、またこの先別の手段が出てくる可能性も考慮し文面を検討する。

委 員： 同じ段落の5行目の「その場で意見用紙に記入できるようにするなど」について、意見公募に関しては簡単なアンケート調査とは違い、自分の意見を考えてまとめる必要があり、その場で書くのは難しい部分がある。いろいろな施設に資料を配架することで、市民の目に触れる機会を増やすことが大切だと考えており、そのような記述に変更できないか。

会 長： シリウスのような図書館であれば、資料もたくさんあり時間をかけて意見をまとめられると思う。意見公募をしていることを知っても提出しにくいことによって書くのをやめてしまう可能性を考えると、「その場で意見用紙に記入できるようにするなど」と例示するのはアプローチのひとつとして良いと思う。

事務局： 提出しやすい環境づくりという表現は残しながら、いただいた意見の主旨を考慮し検討する。

委 員： 4段落目の2行目の「市民意識の高さ」と、5段落目の2行目の「市民の参画意識のさらなる向上」について、意図するところが同じなのであれば表現を揃えたほうが良いと思う。

会 長： 4段落目のはうは公募する市民の意識の問題なので「市民意識の高さ」と表現したのだと感じた。文章の流れやすさを考えてそのままでも良いようにも思う。

事務局： 文章の流れも含めて検討する。

委 員： 5段落目の4行目の「各関係団体等のコミュニティに個別に働きかけるなど」の「個別に」という表現だが、コミュニティは集まっているところなので「直接」にするか削除したほうが良いと思う。「直接」とすると言葉が強くなるので検討してもらいたい。また、「今後に向けて各関係団体等のコミュニティに働きかけるなど」とすると、そういう取り組みをこれから始めようということが分かるのでより良いのではないかと思う。

委 員： この「個別」は、関係団体にまとめて働きかけるのではなく、それぞれの

団体に働きかけるという意図での「個別」ということか。

事務局： そのとおりである。各審議会と関係団体との関係性もあると思うので、「直接」という表現を入れるかも含めて検討させていただく。

委員： 最後の段落の「以上、」について、「以上、～～のように」と何かまとめの言葉を入れると文章がはっきりして良いと思う。

委員： 全体的に会議で出された意見が伝わりやすくまとめられていると感じた。  
「以上、」の後の「今後も」からの文章は必ず残すべきところなので、「以上、  
申し上げましたとおり」と入れるのか流れの中で検討してもらいたい。

事務局： 「以上、」と「今後」の間に何か加えるのか、「以上、」を削除するのか、  
文章の流れも踏まえて検討する。

以上